所属・氏名（医療栄養学部　医療栄養学科　氏名：岡村 友理香）

	著書、学術論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
1	（著書） めざせ！栄養士・管理栄養士 まずはここからナビゲーション	共著	平成 26 年 1 月	第一出版株式会社 p82,84-91	栄養士・管理栄養士を目指しこれから学び始める学生を対象とし、栄養学の基礎知識に関してイラストを交えて説明した。 小野章史,浅田憲彦,大森聡,岡村友理香,小野尚美,海陸留美,東保美香 「実験・実習における心構えとレポートの書き方」部分担当
2	（報告・発表） アルコール投与ラットにおける70%肝切除後でのビタミン Cおよび E が残存肝保護に与える影響	共著	平成 25 年 9 月	第 60 回 日本栄養改善学会学術総会 p222	術後に抗酸化物質を投与することにより肝実質細胞傷害を軽減させ、部分肝切除後の残存肝機能を保護、肝再生を強く促すことが示唆された。 岡村友理香, 平包留美, 大森聡, 小野章史 研究計画、実施、データ解析、発表 担当
3	（報告・発表） 高リン食ラットのラッキョウフルクタン摂取によるミネラルの影響	共著	平成 26 年 11 月	日本食物繊維学会 第 19 回学術集会 50-51	ラッキョウフルクタン投与は大腿骨破断結果より、骨強度を高め、さらに骨の柔軟性に関して影響を及ぼしていた。骨中の結合組織に存在するコラーゲンペプチド鎖の増強に寄与し、組織に強靭性を与えているものと推察された。 岡村友理香,梅林由佳,池田涼子,佐々木瞳,橋本亜由美,菱田優衣,小林恭一,谷政八 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
4	（報告・発表） ビタミン D 代謝の概日リズムの分子機構の解明と時間治療への応用	共著	平成 28 年 5 月	第 70 回 日本栄養・食糧学会大会 p179	活性型ビタミン D_3[1,25$(OH)_2D_3$]の投与時刻（明期と暗期）の違いがその生理作用に及ぼす影響を検討した結果、暗期での1,25$(OH)_2D_3$投与がより強い作用を発揮することが示され、血中1,25$(OH)_2D_3$濃度の日内リズムには時計遺伝子による腎臓ビタミンD代謝酵素の発現変動を介していることが明らかになった。 山本浩範,岡村友理香,石黒真理子,中橋乙起,青木菜摘,柴田重信,岩野正之,竹谷豊 共同研究につき本人担当部分抽出不可能